



令和6年5月23日
海上保安庁

日本・米国・韓国による『初』の合同捜索救助訓練について

～米国巡視船及び韓国警備艦が舞鶴に入港します！～

海上保安庁は、米国沿岸警備隊（USCG）及び韓国海洋警察庁（KCG）と合同で、『初』の海上における捜索及び救助に関する訓練を実施します。日米韓海上保安機関連携にかかる「意向確認書」を署名後『初』の合同訓練でもあり、本訓練を通じ三カ国の連携・協力体制の強化を図ります。

また、本訓練実施にあたり、USCG 巡視船及び KCG 警備艦が舞鶴港に入港して、海上保安庁の施設見学や巡視船等相互見学を実施します。

1 訓練日時・場所

開催日：令和6年6月6日（木）

場所：京都府丹後半島北方海域

2 訓練概要

日本海で船舶同士が衝突し、火災が発生したとの想定のもと、日本、米国及び韓国の海上保安機関が連携し、合同で次の訓練を実施します。

- (1) 舞鶴RCCと東海RCCとの情報伝達訓練（海難船舶の情報を共有）
- (2) 捜索救助計画の策定訓練（漂流予測、捜索区域設定）
- (3) 合同捜索救助訓練（救命筏及び脱出した乗組員（人形）の捜索救助）

3 参加国機関及び勢力

(1) 日本側（海上保安庁）

舞鶴RCC（Rescue Coordination Centre：救助調整本部）

巡視船わかさ（総トン数 1,500トン・舞鶴海上保安部所属）

中型固定翼機1機



(2) 米国側(米国沿岸警備隊)

巡視船 WAESCHE(総トン数 4,500トン)

回転翼機1機

無人航空機(小型)1機



出典：USCG 提供

(3) 韓国側(東海地方海洋警察庁)

東海 RCC(Rescue Coordination Centre:救助調整本部)

警備艦太平洋16(総トン数 3,249トン)



出典：KCG 提供